



# NDO サービスのアップグレードまたはダウングレード

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [Cisco App Store を使用した NDO サービスのアップグレード \(3 ページ\)](#)
- [NDO サービスの手動アップグレード \(5 ページ\)](#)

## 概要

ここでは、Cisco Nexus Dashboard に導入されている Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2(1) 以降をアップグレードまたはダウングレードする方法について説明します。

VMware ESX VM または Cisco Application Services Engine に導入されている以前のリリースを実行している場合は、[Nexus Dashboard Orchestrator 導入ガイド](#)の「Nexusダッシュボードへの既存のクラスタの移行」の章の説明に従って、新しいクラスタを導入し、既存のクラスタから設定を転送する必要があります。

## 前提条件とガイドライン

Cisco Nexus Dashboard Orchestrator クラスタをアップグレードまたはダウングレードする前には、次の手順を実行します。

- リリース 3.2(1) より前のリリースからのステートフルアップグレードはサポートされていません。

それより前のリリースからアップグレードする場合は、この章の残りの部分をスキップし、[『Nexus Dashboard Orchestrator Deployment Guide』](#)の「Migrating Existing Cluster to Nexus Dashboard」の項に記載されている手順に従ってください。

- 現在の Nexus ダッシュボードクラスタが正常であることを確認します。

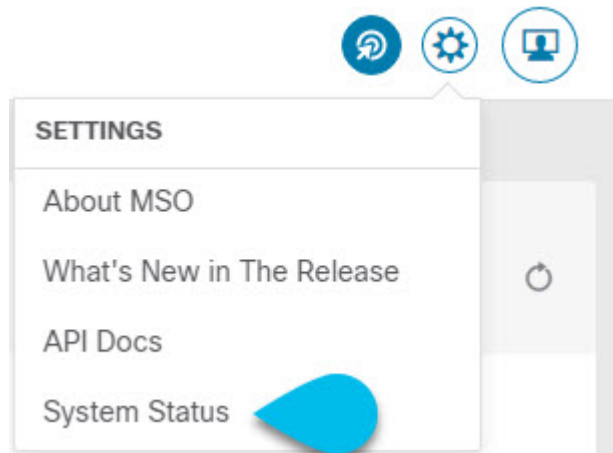
Nexusダッシュボードクラスタの状態は、次の2つの方法のいずれかで確認できます。

- Nexus ダッシュボード GUI にログインし、[システム概要 (System Overview)] ページでシステムステータスを確認します。
- 任意のノードに直接 `rescue-user` としてログインし、次のコマンドを実行します。

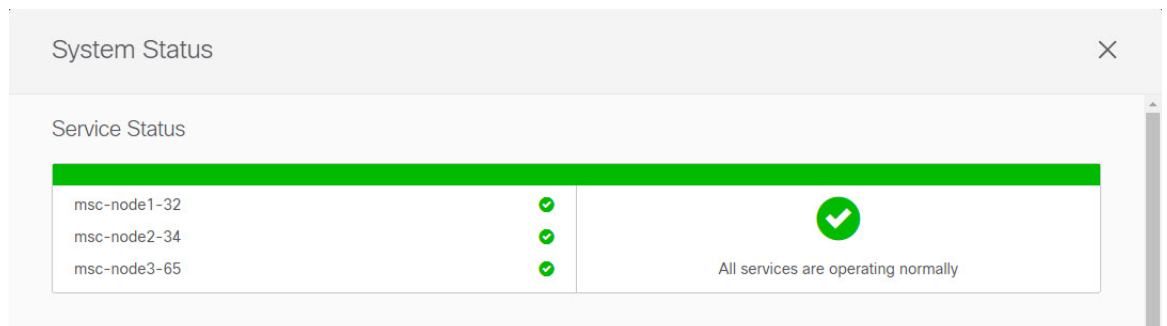
```
# acs health
All components are healthy
```

- 現在の Cisco Nexus Dashboard Orchestrator が正常に動作していることを確認します。

Nexus Dashboard Orchestrator サービスのステータスは、[設定 (Settings)] > [システムステータス (System Status)] に移動して確認できます。



次に、すべてのノードとサービスのステータスが正常であることを確認します。



- NDO サービスのアップグレードは次のいずれかの方法で実行できます。
  - [Cisco App Store を使用した NDO サービスのアップグレード \(3 ページ\)](#) の説明に従って、Nexus ダッシュボードの App Store を使用します。  
この場合、Cisco DC App Center は、管理ネットワークを介して直接、またはプロキシ設定を使用して Nexus ダッシュボードから到達可能である必要があります。Nexus ダッシュボードのプロキシ設定については、『*Nexus Dashboard User Guide*』を参照してください。



注 App Storeでは、サービスの最新バージョンにのみアップグレードできます。つまり、すでにリリース 3.4(1) が使用可能になっている場合、App Store を使用してリリース 3.3(1) にアップグレードすることはできません。以下に説明する手動アップグレードプロセスに従う必要があります。

- [NDO サービスの手動アップグレード \(5 ページ\)](#) の説明に従って、新しいアプリケーションイメージを手動でアップロードします。

この方法は、DC App Center への接続を確立できない場合、または使用可能な最新リリースではないアプリケーションのバージョンにアップグレードする場合に使用できます。

- Nexus Dashboard Orchestrator をリリース 3.3(1) 以降にアップグレードした後に新しい Cloud APIC サイトを追加および管理する場合は、それらのサイトが Cloud APIC リリース 5.2(1) 以降を実行していることを確認してください。

以前のリリースを実行しているクラウド APIC サイトのオンボーディングと管理は、Nexus Dashboard Orchestrator 3.3(1) ではサポートされていません。

- リリース 3.3(1) より前のリリースへのダウングレードはサポートされていません。

以前のリリースにダウングレードする場合は、以前のリリースでサポートされているプラットフォームに新しい Nexus Dashboard Orchestrator クラスタを展開してから、古い設定のバックアップを復元する必要があります。リリース 3.3(1) 以降で作成されたバックアップを古い NDO クラスタに復元することはサポートされていません。

Nexus Dashboard Orchestrator の以前のリリースにダウングレードする場合は、すべてのクラウド APIC サイトをリリース 5.2(1) より前のリリースにダウングレードする必要もあります。

## Cisco App Store を使用した NDO サービスのアップグレード

ここでは、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2(1) 以降をアップグレードする方法について説明します。

### 始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。

- Cisco DC App Center が Nexus ダッシュボードから管理ネットワーク経由で直接、またはプロキシ設定を使用して到達可能であることを確認します。

Nexus ダッシュボードのプロキシ設定については、『[Nexus Dashboard User Guide](#)』を参照してください。

**ステップ 1** Nexus Dashboard にログインします。

**ステップ 2** 左のナビゲーションメニューから [サービス カタログ (Service Catalog)] を選択します。

**ステップ 3** App Store を使用してアプリケーションをアップグレードします。

- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で [アプリストア (App Store)] タブを選択します。
- [Nexus ダッシュボード オーケストレータ (Nexus Dashboard Orchestrator)] タイルで、[アップグレード (Upgrade)] をクリックします。
- 開いた [ライセンス契約 (License Agreement)] ウィンドウで、[同意してダウンロード (Agree and Download)] をクリックします。

**ステップ 4** 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーションイメージが使用可能になるまでに最大20分かかることがあります。

**ステップ 5** 新しい画像をアクティブにします。

Version	Installation Date	Activation State	
3.2.0.188	2020-12-12, 19:21:28	Active	Disable
3.2.0.197	2020-12-16, 09:09:51	Activate	🗑️

- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。

- c) [Available Versions]ウィンドウで、新しいイメージの横にある **[アクティベート (Activate)]** をクリックします。
- (注) 新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。

#### ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持しておくこともできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- a) **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- b) [Nexus Dashboard Orchestrator]タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、**[利用可能なバージョン (Available Versions)]** を選択します。
- c) 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

#### ステップ7 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexusダッシュボードの **[サービスカタログ (Service Catalog)]** ページのアプリケーションタイトルで **[開く (Open)]** をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexusダッシュボードで使用したものと同一クレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

## NDO サービスの手動アップグレード

ここでは、Cisco Nexus Dashboard Orchestrator リリース 3.2(1)以降をアップグレードする方法について説明します。

#### 始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。

#### ステップ1 ターゲットリリースイメージをダウンロードします。

- a) [Nexus Dashboard Orchestrator service DC App Center]ページを参照します<https://dcappcenter.cisco.com/multi-site-orchestrator.html>。
- b) **[バージョン (Version)]** ドロップダウンから、インストールするバージョンを選択し、**[ダウンロード (Download)]** をクリックします。

- c) ライセンス契約に同意し、イメージをダウンロードします。

**ステップ2** Nexus Dashboard にログインします。

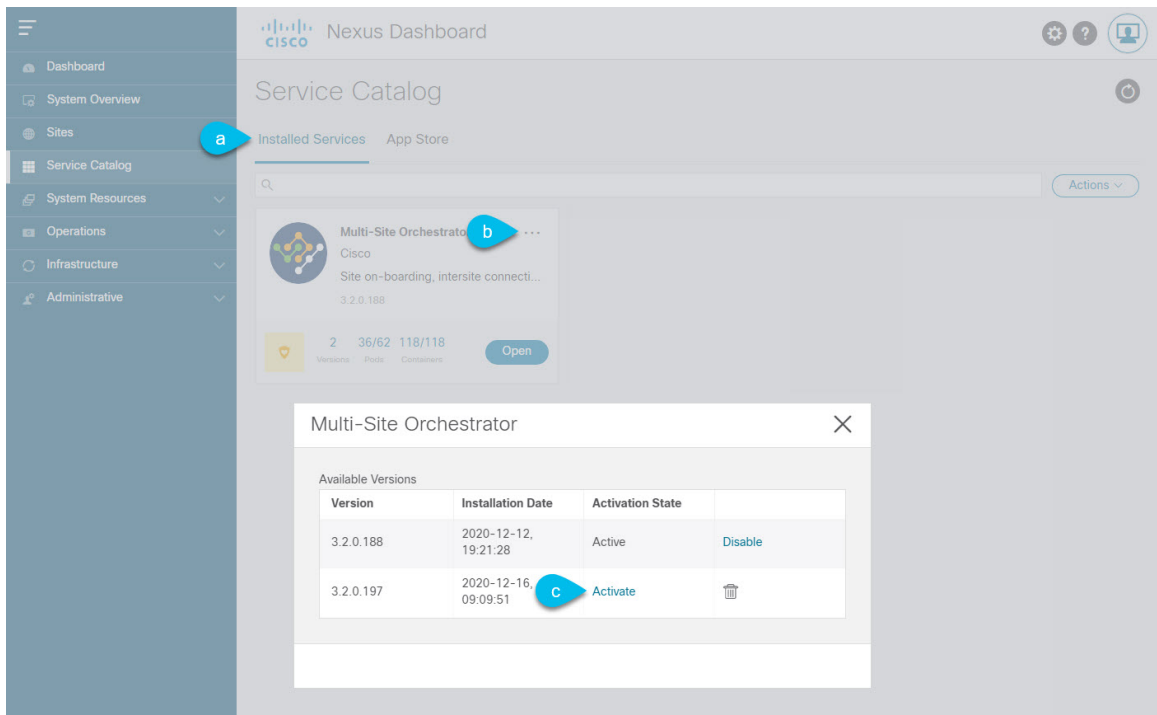
**ステップ3** Nexus Dashboard にイメージをアップロードします。

- a) 左のナビゲーションメニューから **[サービス カタログ(Service Catalog)]** を選択します。
- b) Nexus Dashboard の **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みのサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- c) メインペインの右上にある **[アクション (Actions)]** メニューから、**[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** を選択します。
- d) **[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** ウィンドウで、イメージの場所を選択します。  
アプリケーションイメージをシステムにダウンロードした場合は、**[ローカル (Local)]** を選択します。  
サーバでイメージをホストしている場合は、**[リモート (Remote)]** を選択します。
- e) ファイルを選択します。  
前のサブステップで**[ローカル (Local)]** を選択した場合は、**[ファイルの選択 (Select File)]** をクリックし、ダウンロードしたアプリケーションイメージを選択します。  
**[リモート (Remote)]** を選択した場合は、以下のように、イメージファイルへの完全な URL を入力します。  
(`http://<ip-address>:<port>/<full-path>/cisco-mso-<version>.aci`)
- f) **[アップロード (Upload)]** をクリックして、アプリケーションをクラスタに追加します。  
アップロードの進行状況バーとともに新しいタイルが表示されます。イメージのアップロードが完了すると、Nexus Dashboard は新しいイメージを既存のアプリケーションとして認識し、新しいバージョンとして追加します。

**ステップ4** 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーションイメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

**ステップ5** 新しい画像をアクティブにします。



- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みのサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[使用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- [使用可能なバージョン] ウィンドウで、新しいイメージの横にある [起動 (Activate)] をクリックします。

(注) 新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。

**ステップ 6** (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持することもできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みのサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- [Nexus Dashboard Orchestrator] タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[使用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

**ステップ 7** アプリケーションを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus Dashboard の [サービスカタログ (Service Catalog) ] ページのアプリケーションタイトルで **[開く (Open) ]** をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus Dashboard で使用したのと同じクレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

---